

国立大学法人
奈良女子大学

旧奈良女子高等師範学校本館 重要文化財

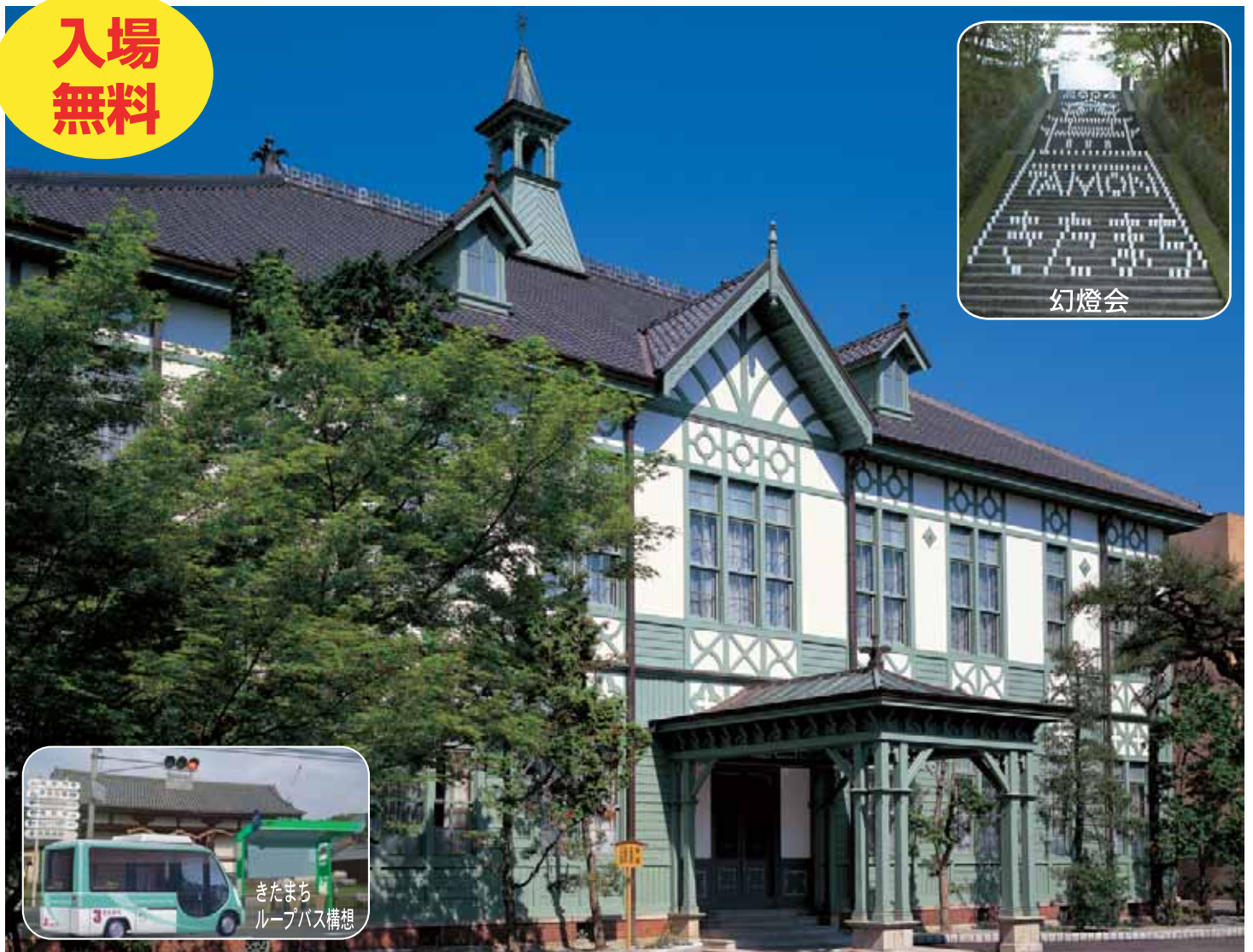
記念館一般公開

平成18年4月29日(土)～5月7日(日) 午前9時～午後4時

特別
展示

奈良きたまちと奈良女子大学

入場
無料



- 公開施設 記念館(重要文化財 旧奈良女子高等師範学校本館)
- 入場料 無料
- 交通 近鉄奈良駅より徒歩約5分、JR奈良駅より市内循環バス近鉄奈良駅前下車
※お車でのご来学はご遠慮ください



連絡先: 奈良女子大学総務・企画課 〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL.0742-20-3220 FAX.0742-20-3205
記念館HP <http://koto.nara-wu.ac.jp/kinenkan/>

主催 奈良女子大学
共催 奈良街道まちづくり研究会/奈良デザイン協会・観光研究会
本特別展示は、平成17年度に文部科学省から本学が選定された
「現代的教育二一ス取組み支援プログラム(現代GP)」の活動の一環を紹介するものです

現代GP

特別
展示

奈良きたまちと奈良女子大学

「奈良きたまち」は、近鉄奈良駅北側に広がる地域をさし、古くから京都へ通じる街道筋として、職人や商人の活気にあふれた街でした。東大寺や正倉院、転害門など奈良時代から現代までの数多くの歴史的遺産や伝統的町並みが残っています。また、古くからの石地藏石仏群が路傍に数多くまつられているのもこの地域の特徴です。

今回の特別展示では、この地域の魅力を紹介し、新しい観光地として提案計画する活動などを紹介します。

奈良女子高等師範学校(現奈良女子大学)は、明治41年3月、奈良市の市街地に設置され、42年5月から授業を開始した。校舎の工事は、41年2月の本館の着工にはじまり、42年10月には主要な建物が完成した。現在残る旧本館(現奈良女子大学記念館)及び守衛室はこの時の建物である。

工事は、文部省建築課が行い、京都帝国大学建築部長で奈良出張所長心得の山本治兵衛が実務の中心的役割をはたした。

旧本館はキャンパス中央南寄りにあって東面して建ち、旧本館の真向かいに正門、その横に守衛室が建つ。

旧本館は木造二階建てで、外壁の一部をヨーロッパ北部に見られるハーフティンバー形式とし、正面中央に車寄せのある玄関を持つ。屋根は椀瓦葺で中央に塔屋が付き、正背面に各二箇所、両側面に各一箇所のドーマー窓を設けている。

一階は中廊下をはさんで左右に大小七室の部屋が並び、両端の階段から二階へ昇ると二階全体は講堂となっており、講堂には当時からの長椅子が今も残る。

講堂の天井は、中央部を二重に折上げ、小壁に化粧の窓を設け、中央からシャンデリアを吊り下げている。



天平時代の東大寺の伽藍を想像できる唯一の遺構
国宝 東大寺西門の一つ

転害門



奈良豆比古神社本殿裏に生息する樹の巨木
奈良県の天然記念物

奈良豆比古神社の大樟



こずもす寺としても有名な般若寺 鎌倉期の優美な
建築様式を持つ 国宝

般若寺の楼門



鎌倉時代 忍性により建てられた慈悲救済施設

北山十八間戸



明治41年創建の赤レンガ造りの洋風建築
本館も同様式

奈良少年刑務所



明治42年創建の木造洋風建築 国の重要文化財

奈良女子大学記念館



★奈良・鎌倉・江戸
明治時代の建造物

●無数にある石地藏
石仏群



戦国時代の勇将松永久秀が承録三年に築いた多間山城の築城に用いたといわれる称名寺の千駄地藏をはじめ 夕日地藏・見返り地藏・佐保川地藏・幸せ地藏等々
奈良・鎌倉・室町.....

まちのそこそこに点在するまだ数え不尽せぬ 無数の地藏・石仏群



入場無料

交通

近鉄奈良駅より 徒歩5分
JR奈良駅より
市内循環バス近鉄奈良駅前下車
※お車でのご来学はご遠慮下さい。

記念館HP <http://koto.nara-wu.ac.jp/kinenkan/>

連絡先

奈良女子大学総務・企画課
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL.0742-20-3220
FAX.0742-20-3205



近鉄奈良駅